

公益信託世田谷まちづくりファンド

第25回助成事業 審査講評

10代まちづくり部門

<5-1 世田谷ドリーム –セタドリー–>

- ・中高生とシニアを英語と観光ガイドでコーディネートする、そのアイデアがとてもユニークだと思います。まちづくりの原点は、個々の市民がまちのために自分の持つ力を-それが大きかろうが小さかろうが-提供することにある、ということ再認識させていただきました。今年度採択された、Setagaya Mi-Ni Projectさんも同じく世田谷のインバウンドに着目しているので、大学の学生さんたちとも繋がって活動をすすめると面白いかも知れません。失敗を恐れず、楽しんで活動してください！
- ・地域への愛着と誇りを実感するためには、まったく違う人たちにその魅力を発信し、伝えていくことから生まれると思います。また、自分たちだけでは発見できない魅力を、外の人たちから教えてもらうこともたくさんあると思います。「教えてあげる」のではなく、「一緒に地域の魅力を発見していく」「発見した魅力が地域に還元し、地域から広がっていく」活動にしてもらいたいと思います。また、若者らしい縛られない発想での取り組みは、地域に新しい風を吹き込みます。若い世代のチャレンジを無条件に応援する人たちを増やすために、自分たちならではの観点でどんどん人を巻き込んでください。
- ・今年にはまちづくり活動部門でも外国人観光客に向けた活動が助成されました。(Setagaya Mi-Ni Project) 是非、情報交換しながら進めていただければと思います。また、活動の成果・課題を、区内の観光に関わる人に広く共有していけるといいと思います。